

ファミリーデー2018開催報告

2018年8月20日（月）、23日（木）の2日間にわたり「ファミリーデー2018」を新宿オフィスで開催しました。ファミリーデーは、社員のご家族に職場訪問を通じて仕事に対する理解を深めてもらうと共に、社員同士の交流を通じたコミュニケーションの活性化を目的として2014年より開催しています。今年は合計28組89名の社員およびそのご家族が参加し、オフィス見学や名刺交換のほか、TV会議を使ったジェスチャーゲームや、Pepperを使ったクイズなど、「縁日」をテーマにした様々なコーナーを楽しみました。



サイト統合とリニューアル

2018年11月に、会社情報やプレスリリース、株主・投資家向けのIR情報などを中心に掲載していた『コーポレートサイト』と、お客様に対してソリューションやサービスの情報を提供していた『サービスサイト』を統合し、これまで以上に情報にアクセスしやすいサイトに刷新しました。新サイトでは、ブログ等の更新頻度をさらに上げるなど、より積極的に皆さまのお役に立てる情報を発信していく予定です。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	お知らせ
期末配当金基準日	3月31日	1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
定時株主総会	毎年6月	2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社	（特別口座管理機関 連絡先） 三菱UFJ信託銀行 証券代行部 TEL.0120-232-711（フリーダイヤル）
同連絡先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324（フリーダイヤル）	3) 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほ証券本支店でお受けいたします。
上場取引所	東証第一部（コード番号 4726）	
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 https://www.softbanktech.co.jp/	

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
新宿イーストサイドスクエア 17階
TEL 03-6892-3063（IRお問合せ）
URL <https://www.softbanktech.co.jp/>
お問合せ先 経営企画本部 経営企画部
MAIL sb-ir@tech.softbank.co.jp



※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
※本紙では、フォントワークス様のフォントを使用しています。
Copyright© SoftBank Technology Corp. All Rights Reserved.

ソフトバンク・テクノロジー 株式会社 BUSINESS REPORT

2018.04.01 - 2018.09.30

上期売上・営業利益は過去最高 第2次3か年計画も順調に進展

株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第31期（2019年3月期）第2四半期の概況についてご説明させていただきます。

第2次3か年計画は着実に進展

私たちは、「大きく成長する」という経営方針のもと、お客様の本業成長に貢献する「お客様のビジネスパートナー」に変貌を遂げるため、第2次3か年計画として「クラウドへの集約」「IoTビジネスの開発」を基本戦略に掲げております。

3年目を迎えた本年度の上期におきましては、2つ進展がありました。一つ目は「クラウドへの集約」で進めている独自サービスの強化とチャネル販売による収益拡大に向けた準備です。clouXion（クラウドジョーン）の名称でクラウドサービスのブランドを立ち上げ、10サービス以上のラインアップを用意しました。2016年4月より開始したセキュリティ運用サービス（マネージド・セキュリティ・サービス）も収益に貢献するまでに成長しております。

もう一つは「IoTビジネスの開発」において、デバイス側の「セキュアIoTプラットフォーム」に続いて、クラウド側で軸となるサービスとして「IoT Core Connect（アイオーティーコアコネクト）」をリリースすることができま

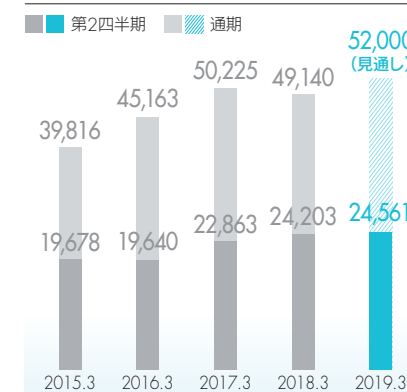
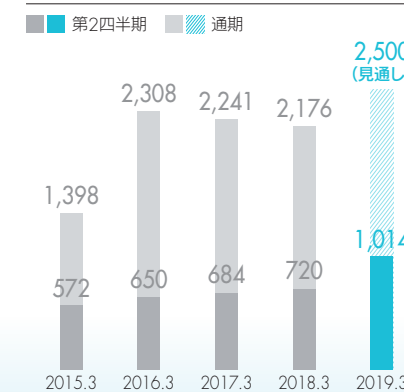
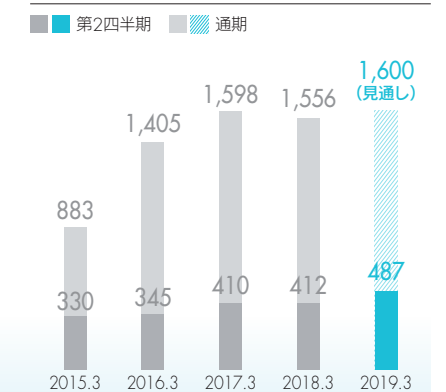


代表取締役社長 阿多 親市

した。デバイス側はお客様の新製品開発の段階から参画して製品に組み込まれることを目指している一方で、クラウド側では、既に世の中にある産業機器やデバイスのIoT化を実現することを目指しております。

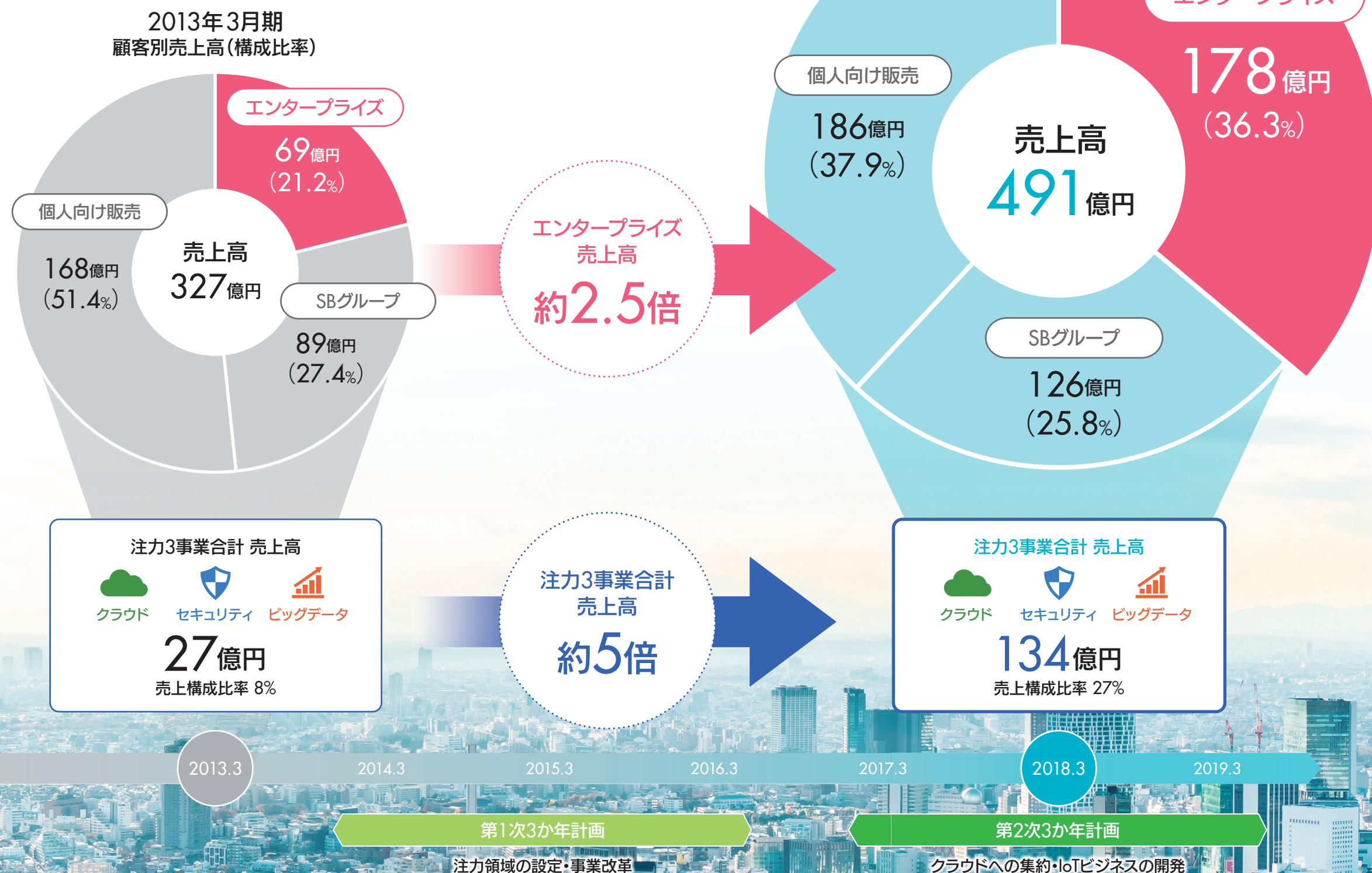
セキュリティ事業が好調、増収増益を牽引

当上期は、東京オリンピックに向けたサイバー攻撃対策の需要の増加やセキュリティ人材不足等によりセキュリティサービスが伸長するなどセキュリティソリューション事業が好調に推移したことに加えて、企業のクラウド化とモバイル活用の旺盛な需要を取り込みクラウドソリューション事業も増収増益となりました。そのほか、ECサービス事業の堅調な推移や、低採算な機器販売の終了により営業利益率が1.1ポイント改善しました。この結果、上期において過去最高の売上高と営業利益を達成いたしました。下期においても、クラウドとセキュリティを中心に事業を拡大し、売上高520億円、営業利益25億円を目指してまいります。

売上高
(百万円)営業利益
(百万円)親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益
(百万円)

第1次3か年計画から5年が経過、私たちのビジネス変革は着実に進んでいます

私たちソフトバンク・テクノロジーは、2013年3月期に「大きく成長する」ことを掲げ、第1次3か年計画（2014年3月期より）において注力3事業を設定しました。連結営業利益および連結営業利益率の向上を目的に、既存事業を維持しながら限界利益率の高い注力3事業を拡大し、クラウド、セキュリティ、ビッグデータを中心にエンタープライズビジネス（ソフトバンクグループ以外の大手企業、官公庁向け）の売上構成比率の増加を目指してきました。第2次3か年計画の最終年度を迎え、これまでの5年間で顧客別売上高にどのような変化があったのかをご紹介します。



上期トピック

2018年8月
クラウドサービスの
ブランドを立ち上げ

clouXion

clouXionは、エンタープライズ向けの個別開発で蓄積したノウハウをもとに開発されたクラウドサービス群のブランドで、企業のデジタルトランスフォーメーションとビジネス成長を支援します。今後もサービスラインアップを拡充し、直接販売のみならず、パートナーによる販売も展開することでエンタープライズ売上高および注力3事業売上高の成長を目指します。

認証・セキュリティソリューション

- 24時間365日体制でのログ・アラート監視
Microsoft 365 セキュリティ運用・監視
- Active Directoryでのクラウドサービス認証
ADFS on Cloud
- Azure ADを利用したシングルサインオン
ADP on Cloud
- クラウド社外利用の端末認証・アクセス制御
Online Service Gate
- Office 365の誤送信対策・アーカイブ機能
Mail Safe/Mail Vault
- OneDriveをセキュアに利用するための機能
OneDrive for Business Security Pack

業務効率化 ソリューション

- Office 365と連携するチャットボット
Knowledge Bot
- SharePointと連携するワークフローサービス
Flow
- クラウドのプロビジョニングおよびプロセスの自動化
Provisioning Flow
- SharePointモダンUI対応のサイト構築
OnePortal Modern
- SharePointクラシックUI対応のサイト構築
OnePortal Classic